



高知県介護福祉士会広報誌 — 第30号 —

喜怒哀楽

K I D O A I R A K U

- 発行 高知県介護福祉士会
- 編集 広報委員会
- 事務局 〒780-8567
高知市朝倉戊375-1
高知県社会福祉協議会内
TEL 088-844-4611
FAX 088-844-9443
- URL <http://kaigo-kochi.jp/>

総合事業における訪問介護 従業者養成研修開催

企画委員長 森本 俊介



高知県介護予防等サービス従業者養成事業として「総合事業における訪問介護従業者養成研修」を平成28年7月23・24日の2日間、開催いたしました。

総合事業とは「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」のことを指し、予防給付のうち訪問介護・通所介護については、市町村が地域の実情に応じた取り組みができる介護保険制度の地域支援事業へ平成29年度末までに移行するというものです。高知県介護福祉士会として、少しでも介護に興味をもついただき、介護の仕事の魅力を少しでもお伝えできればと思い、介護未経験者や、有資格者ではあるものの、実務には就いてない方たちを対象に研修を開催しました。

1日目は「介護保険制度・総合事業」に関する基本について、高知県地域福祉部高齢者福祉課の酒井美枝様に、そして「老いるとは？認知症とは？」の講義を高知県介護福祉士会 佐井健二会長に、「接遇マナー・コミュニケーション」について高知県介護福祉士会 山中由美子副会長にそれぞれに説明してもらいました。介護保険や認知症などは、初めて耳にする言葉も多く、新しい情報を入れようと受講生も真剣にメモを取って聞いていました。接遇マナーやコミュニケーションは、自分では正しいと思っていたマナーや言葉遣いが、間違っていたことに気づかされ、今後の仕事などに活かしたいという声もありました。

2日目は「リスクマネジメント」や「家事援助（栄養と調理・環境整備・洗濯方法）」の講義と、「身体介護（移動移乗介護・更衣介助・排泄介助・保清整容介助）」の実技も行いました。家事援助では、普段している調理や洗濯・掃除などが題材ではありますが、ヘルパーはいろいろ考えて援助しているのであって、ただ家事をしている訳ではなく、栄養や嚥下状態に合わせた調理や、洗濯量から感じることなどを話すと「プロだと感じた」と感心してもらえました。

今回は初めての開催ということと、お知らせする期間が短かったため、受講生4名と少人数でのスタートにはなりましたが、受講生からは「すごく勉強になり、介護の仕事に興味をもった」、「他の人にもぜひ受けてほしい」などの声が聞かれました。

次回は9月3・4日と1月21・22日の開催予定となっております。ぜひ多くの方に受講していただき、介護や介護職への興味と理解をもっていただければと思います。

当社は、地域の雇用と業界の成長をサポートします

●介護福祉士実務者研修

高知市会場・四万十市会場



株式会社 穴吹力レジットサービス

〒760-0021 香川県高松市西の丸町 14-10

●介護職員向け教育研修

詳しくは下記のお電話からお問い合わせください

TEL : 087-823-0303

URL : <http://anabuki-cs.jp/>

転職から天職へ



先日、部下から退職の相談を受けました。それほど親密ではないにしろ、私と彼との信頼関係はしっかりできており、お互い納得したうえで私はそれを受けとめ、センター長へ説明に行きました。たちまち彼の穴埋めをする覚悟を決め、段取りをしています。彼も同時進行で、次の職場へと意識を切り替え始めました。変な例えですが、殴り合いにならない程度の離婚でしょうか。私は彼を割り切って祝福し、彼も感謝を述べて次の道に進む。お互いを健闘し合って、最後の日まで業務に専念するつもりです。恥ずかしい話ですが、他部署でも退職する職員がいます。そちらは上司と部下がお互いを罵り合っており、なんともやるせない雰囲気が漂っています。仕事に誇りをもち情熱が継続されていても、ボタンの掛け違いから思わぬ方向へと進んでいるのでしょうか。どちらの場合もそうですが、疲労感とそれに伴う労力は計りしれません。

私の以前の職場は旅行業でした。今とはまったく異なった畑違いの仕事でしたが、接客業という視点から見れば、ツアーの添乗員であれ介護支援員であれ、仕事の本質はほとんど変わりありません。お客様に満足していただき、利潤を得ながら関係性を持続させる。そのためには職場内のやわらかさ（柔軟性）がとても大切で、長くこの仕事を続けるコツは実のところ職員どうし、身近な者どうしでのコミュニケーションの円滑さと信頼関係なのです。職場の異動や転勤、出向に転職といろいろな経験しましたが、「楽しい」、「やっててよかったな」と思う職場はいつも決まってコミュニケーションが充実しています。

私は今、障害者の方を支援する多機能型の施設に勤めています。運がいいのか、いろいろな部署を経験させていただきました。施設入所支援、就労移行支援、グループホームから管理部。どの部署もそれぞれ大変ですが、その中で就労移行支援はとても印象深い経験となりました。2名の障害者の方を雇用されている、南国市のあるお弁当屋の店長さんの話です。どのような障害者を雇いたいのですかという質問に、「挨拶ができる人」をまず挙げました。そして「第一印象」と同じくらい大切な要因として、「支援者を見ます」としみじみ答えられました。支援者の重要な要素は、経験ではなく人柄ではないかとおっしゃっています。

介護を生業とするならば、我々は高齢者や障害のある方だけを対象とするのではなく、自分自身をも一つの対象として人格を磨いていくべきでしょう。おのずと人柄はにじみ出てくるものです。

理事 福西 利孝

施設環境企画

病院・福祉施設備品／介護浴槽 療養ベッド／業務用ランドリーシステム



株式会社 **アイダシステム**

本社 〒763-0052 香川県丸亀市津森町868-3 TEL 0877-35-9570 FAX 0877-35-9571
E-mail: aidasystem.1963@pony.ocn.ne.jp

愛媛営業所 〒791-3110 愛媛県伊予郡松前町浜862-7 武井ビル2F TEL 089-916-9209 FAX 089-904-3461
E-mail: aidasystem-ehime@cnc.e-catv.ne.jp

4月14日・16日に熊本県及び九州地方を襲った地震では、甚大な被害が発生しました。
昨年度防災研修の講師を務めていただきました、高知県福祉研修センターの間所長が災害ボランティアとして、現地に入り、被災者支援を行って来ました。今回はその活動報告をしていただきました。

熊本地震災害ボランティア参加報告

4月14日及び4月16日に二度の最大震度7を記録した熊本地震では、多数の家屋が倒壊・損壊するなど大きな被害が発生し、避難者は最多で18万人に上っていました。

高知県社会福祉協議会では、全国社会福祉協議会からの要請を受け、四国4県で熊本県嘉島町の支援に入ることとなり、4月30日より私を含めた4名が現地に入りました。

現地に入り特徴的だったのが、地震の揺れの大きさを示すように、各所で家屋の倒壊や道路の地割れ、電柱の傾きなどが見られました。被害の多くは、建築経過年数の長い家屋に集中しており、被災された高齢者の方が長引く避難生活に疲れ、また、生活再建に対する不安を抱えていました。

私たちの役割は、地元の嘉島町社会福祉協議会と連携して、被災された方のニーズの把握やボランティアの力を活用した家の片付け支援など、被災前の“普段の生活”に戻るための生活復旧支援でした。地震から2週間以上経過していたが、高齢者等のニーズ把握はまだ十分できていない状態でした。ニーズとして多かったのが在宅高齢者世帯等からの家の片づけ支援などであり、中には、揺れによって散らかったままの家の中で生活される方や自身の車で生活されている方などもいました。丁度ゴールデンウィークと重なったこともあり、日に100名を超えるボランティアの申し込みがあり、1日10件～15件程度、高齢者世帯等の家の片付け支援などに対応していきました。

被災地での支援を通じて感じた課題は、行政・社会福祉協議会・専門職団体などの関係機関による被災された方を支えるための連携でした。嘉島町では近年自然災害が発生していないこともあり、災害に備えた関係機関の連携が十分準備できておらず、災害発生後もそれぞれの機関がそれぞれに動いていた状況でした。

今後、高知県でも30年以内に南海トラフ地震が起こる確率は70%となっています。災害時に十分な支援が受けられない在宅の高齢者や障害者を地域でどう支えていくのか地域での連携が欠かせません。また、施設等に入所されている方についても、サービスが途切れないように物資と人員の確保策も検討しておかなければなりません。災害に向けて取り組むべき対策は数多くあるが、今からできることを一つ一つ取り組んでいくことこそが重要だと感じています。

誰かがやってくれるのを待つのではなく、「いざという時に、いざという力が発揮できるように」一人ひとりができることから取り組んでいきましょう。

高知県社会福祉協議会 高知県福祉研修センター所長 間 章



介護・福祉用具の販売・レンタルの事なら、お任せ下さい！

alfresa アルフレッサ篠原化学株式会社

シルバー事業部 高知市南御座9-41 (展示場)

TEL088-882-5000 <http://www.e-shinohara.co.jp>

専門家による介護現場でのワンポイントアドバイス

介護に音楽のちからを役立てよう♪

音楽療法士 森岡 由紀



こんにちは！音楽療法士の森岡由紀です。もしかしたら、講習会や授業で一緒の方や、現場でいつもサポートしてくださる方も、読んでおられるでしょうか！

私が保育士・介護福祉士の経験を経て、高知で音楽療法士の活動を始めて13年目になりました。その間、活動は徐々に大きく広がり、“音楽療法”の認知度も多くの方が関心を持つほどに変わりました。でもまだまだ実践の現場が広がる可能性は秘めていると考えます。

日本音楽療法学会は音楽療法を「音楽のもつ生理的・心理的・社会的働きを使い、心身の障害の回復・維持・改善、生活の質の向上、行動の変容に向けて、音楽を意図的・計画的に使用することをさす」と定義しています。認定の音楽療法士は、県下でまだ十数名しかおらず、その活動範囲にも限界があります。音楽のちからや音楽療法の知識を知ること、介護の現場にもぜひ皆さんで、音楽のちからを役立てていただければ幸いです。

例えば「歌う活動」は、口元の筋肉を動かし、唾液に分泌を促し口腔ケアにつながります。呼吸活動も活性化させ、手拍子や踊りなど身体活動を容易に導きます。太鼓など打楽器を持っていただくと、さらに促進させます。

いつもよりしっかりとした発声でストレス解消になった！との感想もよくいただきます。こどもの頃に流行った曲にはその当時の記憶が甦り、笑いをもらされたり涙をされたりと、強い情緒性は優れた回想法につながります。言語障害をお持ちの方も、歌だけはすらすらと流調に歌う…という方もよくおられますね。隣の方の歌う声につられて歌いはじめる様子もよく見かけます。またご自身が歌うことが難しい状態でも、そばで身近な人が歌う歌声にハラハラと涙される方もおられます。懐かしい曲の合唱に、すうーっとグループの輪の中に入ってくる方もいます。

歌うだけでもまだまだ様々な効果が期待されます。ほかにも、楽器を演奏する・鑑賞する・創作するなど活動方法も様々です。

音楽を演奏したり聴いたりすることで、皆さん自身の身体やこころの変化を経験した方は多いでしょう。ご自身の知る音楽のちからから、ぜひ介護の現場に取り入れてみてください。



♪ みんなで “音” を “楽” しもう♪

森岡由紀音楽療法研究所

高齢者・精神科・障害者等セッションへの音楽療法士派遣
勉強会や講習会の講師も承ります
こどもたちの音楽セラピー教室 OPEN!



〒780-0914 高知市宝町 15-2 TEL 080-3925-4308

メール moriyuki-2@mvi.biglobe.ne.jp ホームページ <https://www.facebook.com/mtmoriyuki/>

平成28年度第1回NEXT勉強会（施設見学会編）報告

NEXT 委員 吉田 舞



家庭的な雰囲気作りが感じられました。また、津波避難スペースとして、600名程の方が避難できるスペースや、地震の際に窓が割れないための飛散防止フィルムの貼り付け等の対策もされていました。

後半では、食事面で、ゼリー食に力を入れているということで、スイカゼリーやお粥で作ったおはぎ等、実際に試食させていただきました。食事が楽しめるよう、職員同士情報交換を行いながら、提供させていただいているということでした。

その後の質疑応答では、今後の震災対策として、

6月25日(土)、社会福祉法人C I J 福祉会特別養護老人ホームつむぐの施設見学を行いました。

同施設は震災における地域の防災拠点として位置づけられ、昨年度開設されたユニット型の特別養護老人ホームということで、施設内全体を2グループに分かれて見学させていただきました。施設内では、ご利用者だけでなく、家族、地域の方々がそれぞれ利用できるスペースや、職員も快適に過ごせるよう広々とした休憩スペースもあり、



ゼリー食（スイカゼリーやお粥で作ったおはぎ等）

地域の方々との関わりや訓練・施設での各ユニットにおける活動等、意見交換が行われました。他施設への見学の機会が少ない中、とても貴重な体験をさせていただき、とても勉強になりました。今後も様々な研修を通し、意見交換の場が増えればと思います。

今回ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



地域交流スペースにて意見交換会を実施



日本ダストコントロール協会加盟店
清潔と快適の総合サービスをめざす リユース&リニューズ

有限
会社

〒781-0252

本社
営業所

リースキン高知

高知市瀬戸東町2丁目77番地2

高知市長浜1592-4

TEL (088)841-6336 Fax (088)841-5668

●●●●● 研修・イベントのお知らせ ●●●●●

日程	内容	講師等	会場	定員
9月24日(土)	リスクマネジメント研修② 虐待防止と職業倫理	高知県介護福祉士会 会長 佐井 健二 氏	ふくし交流プラザ	80名
10月1日(土) 10月2日(日)	(公社)日本介護福祉士会 第22回中国・四国ブロック 研修会 ○ ○ ○	今回は徳島県で 開催です！多数 の参加お待ちし ています！！	ホテルクレメント 徳島	
10月5日(水) 11月29日(火)	第29回介護福祉士国家試験 全国統一模擬試験		ふくし交流プラザ	160名
10月8日(土)	幡多地区研修 ICFの考え方と介護展開につ いて(仮)	高知県介護福祉士会 副会長 山中 由美子氏	四万十市社会福祉 センター(予定)	50名
10月23日(日) 11月20日(日)	特別講義 記録(施設編) 記録(居宅編)	高知県介護福祉士会 副会長 山中 由美子氏	ふくし交流プラザ	50名
11月9日(水) 11月10日(木)	実習指導者講習会(前期)	高知県介護福祉士会理事 他	ふくし交流プラザ	40名
11月12日(土)	コミュニケーション 多様な高齢者との接し方	日本福祉大学 教授 綿 祐二 氏	ふくし交流プラザ	100名

※各研修会の要綱は、準備ができ次第本会ホームページに掲載します。

(ホームページアドレス <http://kaigo-kochi.jp/>)

研修会について何かご要望等ありましたら、下記のメールアドレスまでお願いいたします。

ccw@kaigo-kochi.jp

● 編 集 後 記 ●

今年は、格別に残暑が厳しいようですが、いかがお過ごしでしょうか？今回、初めて広報委員として活動させていただくことになり、何をお伝えしたらいいのかと悩みました。「夏バテ」について、記載したいと思います。

実は、夏の終わり頃からひどくなりがちだそうで、ひどい夏バテだと秋～冬にかけて体調を崩したままということになりかねないそうです。

また、夏はイベントも盛りだくさんで疲れが溜まりやすい季節。つつい麺類などの簡単な食事で済ませたり、冷たいものをたくさんとってしまうがちになります…。

ゆく夏を惜しむ頃でもあります、夏の疲れを残さぬようご自愛下さい。

広報委員 山本 恵

私たちにしかお手伝いできないこと。

Our pride ⇄ Dynamic Action

Arising happiness

社会も企業もそれを構成するのは「人」。

雇用環境の整備をととして、

人への環境を良くすることが、大きな喜び。



(株)ワークスタッフ

高知営業所 高知市北本町4-5-33

☎ 0120-09-3719

<http://www.ws-gp.co.jp/>